

平成21年5月期 第1四半期決算短信

平成20年10月7日

上場会社名 大黒天物産株式会社
 コード番号 2791 URL <http://www.e-dkt.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大賀 昭司
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 川田 知博
 四半期報告書提出予定日 平成20年10月10日

上場取引所 東

TEL 086-435-1100

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年5月期第1四半期の連結業績(平成20年6月1日～平成20年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年5月期第1四半期	17,761		797		784		423	
20年5月期第1四半期	15,218	28.1	547	3.0	545	5.1	296	2.1

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年5月期第1四半期	30.12		30.08	
20年5月期第1四半期	20.64		20.60	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円	銭	
21年5月期第1四半期	19,096		9,523		49.8	679.38		
20年5月期	19,456		9,353		48.1	662.88		

(参考) 自己資本 21年5月期第1四半期 9,518百万円 20年5月期 9,348百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円	円	円	円	円
20年5月期				12.00	12.00
21年5月期				12.00	12.00
21年5月期(予想)				12.00	12.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年5月期の連結業績予想(平成20年6月1日～平成21年5月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期連結累計期間	32,551		1,367		1,341		697		49.42	
通期	67,300	4.5	2,900	5.0	2,855	5.1	1,480	5.0	104.93	

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 有

以外の変更 無

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年5月期第1四半期	14,375,000株	20年5月期	14,375,000株
期末自己株式数	21年5月期第1四半期	364,200株	20年5月期	271,700株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年5月期第1四半期	14,056,432株	20年5月期第1四半期	14,368,400株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、2ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融・株式市場の混乱や原油をはじめとする原材料の高騰により、企業収益の悪化や個人消費の低迷など、景気の減速感が強まり、一段と厳しい状況となりました。

小売業界におきましては、原油・穀物価格の高騰による商品の相次ぐ値上げ、また、食品の産地偽装問題や輸入食品による農薬混入等、消費者の食の安心、安全に対する意識はますます高まっております。

このような状況の中、当社グループでは既存店舗の活性化のため、ディオ玉島店の新築移転とラ・ムー松永店の改装工事を実施いたしました。また、原材料高騰による商品価格の上昇やメーカーからの値上げ要請を受ける中、当社グループでは地域の皆様の生活応援として、平成20年4月より購買頻度の高い商品約100品目を2割から5割値下げした「生活応援宣言セール」を実施いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は177億6千1百万円、経常利益は7億8千4百万円、四半期純利益は4億2千3百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、法人税等の支払や長期借入金の返済などにより現金及び預金が減少したことにより前期末比3億5千9百万円減の190億9千6百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年5月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、概ね計画どおりに推移しており、連結、個別ともに平成20年7月10日公表の業績予想に変更ありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

簡便な会計処理については重要性が乏しいため記載を省略しております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、従来、卸売部門については、総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。これによる、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

3. 「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正）が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。なお、リース取引開始日がリース会計基準適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。これによる、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

5 . 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位 : 千円)

	当第 1 四半期連結会計期間末 (平成20年 8 月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年 5 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,950,644	5,176,058
受取手形及び売掛金	6,966	12,027
商品	1,663,925	1,918,257
貯蔵品	23,073	24,351
その他	1,280,000	1,172,591
貸倒引当金	78	39
流動資産合計	7,924,532	8,303,247
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	5,720,717	5,784,138
土地	1,674,532	1,674,532
その他 (純額)	133,186	83,996
有形固定資産合計	7,528,436	7,542,667
無形固定資産	47,560	50,260
投資その他の資産		
長期貸付金	1,259,202	1,254,612
差入保証金	1,228,731	1,234,529
その他	1,108,313	1,071,159
貸倒引当金	62	168
投資その他の資産合計	3,596,183	3,560,134
固定資産合計	11,172,180	11,153,062
資産合計	19,096,713	19,456,309

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,353,756	4,132,847
短期借入金	896,586	896,586
未払法人税等	328,366	835,357
賞与引当金	68,790	113,360
その他	1,074,745	1,092,817
流動負債合計	6,722,245	7,070,968
固定負債		
長期借入金	2,550,585	2,754,232
その他	300,680	277,514
固定負債合計	2,851,265	3,031,746
負債合計	9,573,511	10,102,715
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,545,329	1,545,329
資本剰余金	1,707,009	1,707,009
利益剰余金	6,547,454	6,293,212
自己株式	283,396	200,669
株主資本合計	9,516,396	9,344,881
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,317	4,012
少数株主持分	4,487	4,699
純資産合計	9,523,201	9,353,593
負債純資産合計	19,096,713	19,456,309

(2) 四半期連結損益計算書
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位 : 千円)

	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成20年 6 月 1 日 至 平成20年 8 月31日)
売上高	17,761,372
売上原価	13,808,490
売上総利益	3,952,881
販売費及び一般管理費	3,155,563
営業利益	797,318
営業外収益	
受取利息	7,599
受取配当金	310
その他	3,103
営業外収益合計	11,012
営業外費用	
支払利息	20,602
その他	3,063
営業外費用合計	23,665
経常利益	784,665
特別利益	
貸倒引当金戻入額	67
特別利益合計	67
特別損失	
減損損失	4,203
特別損失合計	4,203
税金等調整前四半期純利益	780,529
法人税、住民税及び事業税	317,522
法人税等調整額	39,737
法人税等合計	357,260
少数株主利益	212
四半期純利益	423,481

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
 (自 平成20年6月1日
 至 平成20年8月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	780,529
減価償却費	207,078
賞与引当金の増減額(は減少)	44,569
貸倒引当金の増減額(は減少)	67
受取利息及び受取配当金	7,909
支払利息	20,602
長期貸付金の家賃相殺額	22,234
長期借入金の家賃相殺額	4,205
減損損失	4,203
売上債権の増減額(は増加)	5,060
たな卸資産の増減額(は増加)	255,610
その他の流動資産の増減額(は増加)	168,223
仕入債務の増減額(は減少)	220,908
その他の流動負債の増減額(は減少)	77,586
その他の固定負債の増減額(は減少)	200
その他	3,556
小計	1,217,022
利息及び配当金の受取額	3,503
利息の支払額	20,409
法人税等の支払額	808,629
営業活動によるキャッシュ・フロー	391,487
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	153,087
差入保証金の差入による支出	3,622
差入保証金の回収による収入	8,988
長期貸付けによる支出	44,822
その他	4,952
投資活動によるキャッシュ・フロー	197,496
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	200,000
リース債務の返済による支出	1,417
自己株式の取得による支出	82,727
配当金の支払額	135,261
財務活動によるキャッシュ・フロー	419,405
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	225,414
現金及び現金同等物の期首残高	4,886,686
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,661,271

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項ありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自平成20年6月1日 至平成20年8月31日）

小売事業の売上高の合計、営業利益の金額の合計に占めるの割合が、いずれも90%を超えており、また、当該セグメント以外に開示基準に該当するセグメントはありませんので、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自平成20年6月1日 至平成20年8月31日）

本邦以外の国又は地域に存在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項ありません。

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間（自平成20年6月1日 至平成20年8月31日）

海外売上高がないため、該当事項ありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項ありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年6月1日 至 平成19年8月31日)
	金額(百万円)
I 売上高	15,218
II 売上原価	11,717
売上総利益	3,500
III 販売費及び一般管理費	2,953
営業利益	547
IV 営業外収益	15
V 営業外費用	16
経常利益	545
VI 特別利益	0
VII 特別損失	—
税金等調整前四半期純利益	546
税金費用	249
四半期純利益	296

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第1四半期連結会計期間 (自 平成19年6月1日 至 平成19年8月31日)
区分	金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期(当期)純利益	546
減価償却費	200
賞与引当金の増減額(△減少)	△24
貸倒引当金の増減額(△減少)	△0
受取利息及び受取配当金	△8
支払利息	13
長期貸付金の家賃相殺額	21
長期借入金の家賃相殺額	△3
売上債権の増加額	△1
たな卸資産の増加額	△259
その他流動資産の増加額	△3
仕入債務の増加額	123
その他流動負債の増減額(△減少)	△10
その他固定負債の増加額	19
その他	3
小計	616
利息及び配当金の受取額	3
利息の支払額	△10
法人税等の支払額	△609
営業活動によるキャッシュ・フロー	0
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△409
無形固定資産の取得による支出	△0
差入保証金の払込による支出	△45
差入保証金の回収による収入	1
その他	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△455
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△140
財務活動によるキャッシュ・フロー	△140
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—
V 現金及び現金同等物の増加額(△減少)	△595
VI 現金及び現金同等物期首残高	4,415
VII 現金及び現金同等物期末残高	3,819